

千話万来

2021年11月 288号

株式会社シイビイシー 小玉亜衣

TEL 027-266-6855 FAX 027-266-6856

E-mail lcabc@linxcbc.co.jp

URL <http://www.linxcbc.co.jp>

〒379-2121 群馬県前橋市小屋原町1082-3

— 賃金・評価制度の見直しをしませんか？ —

今まで使ってきた賃金制度や評価制度に疑問を感じる、違和感を覚える。評価を連動させられていない。頑張っている人と、そうでない人の給与バランスがおかしい。などの不便さを感じたりしていませんか？

10年以上賃金制度の見直しがされていなければ、当然のことと思われます。日々世間の動向、人の価値観、働き方、社員の能力、仕事への取り組み方などが変わっているのです。

そのままでは合わなくなるのも当然です。シイビイシーでは、3~5年おきに賃金制度や評価制度の見直しすることをお勧めしています。

賃金制度や評価制度が不明確だったり、透明性・公平性・納得性が無かったりすると、社員は不信感を抱きます。無駄な離職にもつながりかねません。

社員のモチベーションを保つため、未来を描ける、仕事に前向きに取り組めるようになるためにも、賃金制度・評価制度の見直しは必要なことです。

現在も3社ほど制度変更のお手伝いをしております。社員が頑張る目安を持てるような、社員に頑張ってもらいたいと思っていることをわかりやすく示せるような、そんな賃金制度や評価制度を構築中です。

弊社で制度を構築する際には、無理やりシステムやフォーマットに押し込むのではなく、企業や経営者から丁寧にヒヤリングを行いながら、1社1社の業務内容や従業員数、これまでの経緯、今活用している制度の問題点などに合わせた設計を1つ1つオリジナルな設計をご提案させていただいております。

役員の方々はもちろん、一般社員向けの説明会、運用サポートなども行っております。

賃金制度や評価制度に疑問をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

— 上手な人材育成を出来ている企業が成長します —

日常業務・部下育成・戦略、この3つを並行して進めることが出来ている企業が成長を続けています。先を考えて少しずつでもいいから、この3つに取り組んでいるか、いないかで3年後、5年後の組織が大きく変わります。日常業務に振り回されて、他の大事なことに手を付けられないでいると、後になって、出来る人がいない、任せられる人がいない、社員の技術レベルが落ちた、長期的な取り組みにいつまでたっても手が付けられない、開発にてを付けられていない、と困ることが増えてきます。今まで部下育成を積極的に行ってこな

日常業務

- ・ 運用
- ・ いかにか効率的に問題なく業務を遂行するか

部下育成

- ・ 投資
- ・ 明日の戦力強化の為に教育を行う

戦略

- ・ 貯金
- ・ 3年後の組織を予測して考え、そこへ向けての準備、段取りをする

かった企業は、今、大変な思いをしています。

今からでも遅くありません。

一人一人の育成プランをしっかりと立て部下育成を計画的に行いましょう。問題や課題も1年で取り組める物ばかりではありません。3年後、5年後までにと中期目標を立てて、日々取り組んで行く姿勢が大事です。

— 主体性を持って仕事に取り組んでいますか？ —

主体性を持って仕事に取り組むとは、どんな仕事の仕方でしょうか？

主体性とは、物事に進んで取り組む力です。主体性がある人は、自ら考え行動し、その行動に責任を持ちます。一方、主体性のない人は、受け身で、自分で工夫することなく、人から言われたことだけを行います。

「なんでやらなかったの？」「そこまでやるように言われてないからです」というやり取りにも表れます。

与えられたことをコツコツやり遂げるのは良い事ですが、そこに自分なりの工夫、先へ先へと考えて取り組む姿勢がなければ、消極的でやる気がなく、責任感が足りないと思われる方もありません。

「言われたことだけ、指示されたことだけ、最低限やればいい」そんな働き方をしているも、自分自身のモチベーションも上がりませんし、仕事のやりがいや楽しさも感じる事が出来ません。

「自ら考えて行動する」という事は、仕事の目的を理解し、自分で目標を設定し、目標を達成するために何をしたらよいかを自分で考え、自分から率先して行動に移すことです。

「自ら考えて行動する」からには、その行動の結果に責任を持たなければいけません。主体性を持つとしない人の多くは、この保身から来る責任逃れの気持ちの方が勝ってしまっているのではないのでしょうか？

自分の行動の結果に責任を持つというのは、自責で考える事、最後までやり抜くことです。

責任逃ればかりをして、上手く行かない事があった時、問題が起こった時に、すぐ人のせいにする、周りに問題があると考えるのは、責任感のない行動です。他責で物事を考えていても、状況は何も変わりません。

まずは、自分自身を振り返って、「自分に出来ることはなかったか？」と考えたほうが前向きに問題解決に取り組めます。

— やるべき事はわかっているが、日常に振り回されて着手できない —

本来やっておくべき事やこれをやらないと変わらない、あれもこれもやっておきたいと思っている事、気づいていることはたくさんあるのに、目先の日常業務が忙しすぎて、日常業務の何らかのトラブル対応などに振り回され過ぎて、手が付けられていない為、忙しく働いている割には、状況が良くならずに、悪循環を繰り返しているという現場の声をよく耳にします。

やるべき事に手を付ける、新しい行動を習慣化する、取り入れるためには、時間の確保が一番大事なことです。日々のルーティンの中で時間が確保できないから、実行できないのです。新しい行動を取り入れるためには、ポイントがあります。

- ① 「行動したい」「早くやりたい」とあなたの感情の原動力が働くような「本当の目標」「本当のゴール」を持つこと。感情を無視した目標（やらされ事）では動けません。
- ② すぐに結果が出なくても、諦めない事。目標達成にはあきらめの悪さが必要です。
- ③ 期限を決める事。最終ゴールだけでなく、スモールゴールをたくさん作っておくこと。期限が無いと、今何をすればいいのかが決まりません。
- ④ 新しいことを始める時には、最初から高すぎるハードルを設定しない事、取り組む時間も、取り組む量もベイビーステップで始めて、慣れてきたら徐々に増やしていくほうが習慣化されやすくなります。脳は現状維持を好み、急激な変化を嫌うのだという事を忘れないようにしましょう。
- ⑤ 行動あるのみ。難しい事や凄いことをやろうとして、何もできないまま、進まない焦るのではなくて、目の前の事、自分が出来る小さなタスクを1つずつクリアしていくことで、前向きに前進しやすくなります。
- ⑥ まず終わらせてから試行錯誤。小さくても出来たことの積み重ねが自信につながっていきます。